

農業委員会だより

土岐市の農業



編集/発行 土岐市農業委員会

記録を残そう

土岐市農業委員会会長

渡邊 和男 (肥田町)



最近の会議にて「GAP」という言葉が聞かれました。これは農作物（食品）の安全を確保し、よりよい農業生産を実現する取り組み！と紹介されました。自分の農業を振り返ってみると「米作り」は田植えを中心としたスケジュールで農作業に取り組んでいるが各工程における実施日の記録等は皆無である。今回の取り組みでは製品（農産物）を仕上げる工程の見える化であるようだ。一方からだけでなく多方面から見た結果を記録することにより消費者、生産者が安全・安心を確認できるということである。今後の農業研修において各種チェック表等が示されるものと思っておりますが、私は各工程を効率良く消化するのみでなく一呼吸おいて記録を残す習慣を身に着けようと思っております。

◆ 農業委員会活動日誌 ◆

平成29年

- 4/25 農地転用現地調査
- 4/28 第4回農業委員会総会
- 5/23 農地転用現地調査
- 5/26 第5回農業委員会総会
- 6/27 農地転用現地調査
- 6/30 第6回農業委員会総会
- 7/25 農地転用現地調査
- 7/28 第7回農業委員会総会
- 8/1 第8回農業委員会臨時総会
- 8/22 農地転用現地調査
- 8/25 第9回農業委員会総会・研修
- 9/26 農地転用現地調査
- 9/29 第10回農業委員会総会
- 10/24 農地転用現地調査
- 10/27 第11回農業委員会総会
- 10/31 地域別農業委員・農地利用最適化推進委員合同研修会（下呂市）

農業委員の顔



林 汐夫
(妻木町)

私の地域は現在、土地区画整理事業が施行され、その周辺は山すその田畑が存在し、休耕農地の増加や鳥獣被害又、高齢化の問題が進行しています。昨年4月に農業委員会法が改正されましたが一期目の経験を活かし、務めます。



水野 忠
(妻木町)

農業委員に任命された水野忠と申します。現在、住んでいる妻木地区を担当しますが現在、柿野にて就農しており、学校給食向けの葉物を中心に夏にはミニトマトを作っています。脱サラ就農し、8年目を迎え、まだいろいろ分からないことが多いですが、他の農業委員諸先輩方々や事務局に御指導を頂きながら農業委員を務めていきたいと思っております。

●ご存知ですか？農地の売買や転用には、許可が必要です。 農地を耕作するために貸借・売買する場合は「利用権設定」「農地法3条の許可」、農地を宅地等に転用したり、転用するために所有権移転等する場合は「農地法4条または5条の許可」が必要です。

思います。しかし、それだからこそ今まで高齢になっても家族で兼業農家として農地が維持され続けて来ました。採算の合う農業ではなかったが安全で安心がありました。それに限界が来たということですか。「ほんならどうするや?」。答えはその問いの中にしかありません。家々の問題であり、各地区の問題も抱えていると思います。皆さんと一緒に考えていくしかありません。



田中 成典
〈 泉町 〉

この度、農業委員の改選にあたり二期目の委員を務めさせて頂くことになりました。農業委員が二〇名より十四名となり新たに農地利用最適化推進委員が3名委嘱され、泉地区に於いては3名の農業委員が1名減の2名となり負担増となりますが、他の1名の委員は三期目でありご指導ご協力を受けております。高齢化による農業従事者の減少や若者の農業離れによる休耕田や荒廃農地が増えています。新たに農業に従事される人も出てきてお

り、今後が増えることを期待したいと思えます。又、今年も泉公民館の主催による小学生の田植えから稲刈りまでの米作り体験が行われました。五月十三日の田植え後何度も田を訪れ、稲の成長を記録したり田の草を取ったり案山子を作り田に立て、九月十日に稲刈りを行い、約40キロの餅米がとれ、十二月には皆で餅つきをし又、稲わらでしめ飾りを作る予定です。子供たちの楽しそうな姿をみて、将来何人でもいいから農業関係の仕事に就いてくれたらと思います。

これから任期3年間は諸先輩の皆様方の協力を頂き精一杯務めさせて頂きますので、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



三輪 やよい
〈 肥田町 〉

今回の改選により再度農業委員を務めさせていただきます。

市内を歩くと耕作放棄地や圃場整備をした土地であっても遊休農地になっており、雑草が生い茂っている農地の増加にびつくりです。また、草がボウボウ

の中に太陽光発電施設が目立ち、時代の流れを感じる次第です。「この耕作放棄地や遊休農地をどう活用して行くのか?」農業を取り巻くいろいろな課題が山積し、女性として何が出来るか分かりませんが、子ども達の農業体験や食農教育に役立つであろうらしいです。



長江 宮夫
〈 鶴里町 〉

女性の視点から農業をサポート出来ればと思っています。

本年8月に農業委員会の委員に任命されました。昨年4月に農業委員会法が改正され、農業委員としては二期目となりますが、改正法では新農業委員ですので農業委員十四名、農地利用最適化推進委員3名の皆様方や、事務局と一体となって協議を重ねながら対処し、地域の強みを活かしながら、頑張りたいと思っております。ですので、よろしく申し上げます。



佐分利 秀行
〈 鶴里町 〉

農業委員に就任し二期目となります。また三年間よろしくお願ひ致します。9月、農地利用状況調査を行い、昨年より又耕作放棄地が増えました。黄金色に輝く稲田は見えていて気持ちが良いのですが、耕作放棄地は寂しくなります。高齢化が進み、今後も耕作放棄地が増加すると思います。残念です。・・・



日比野 壽郎
〈 曾木町 〉

「耕作放棄地の解消策?」

今、農業を取り巻く厳しい課題が山積する中、私共曾木町も、特に高齢化が進み限界集落化した現状です。担い手不足のうえ、農業者の高齢化による耕作放棄地が年々増えている状況です。そんな厳しい中、耕作放棄地がこれ以上増えない様に豊かな自然、素晴らしい里山の現状を守る事が出来ないかとの思いで一昨年『農事組合法人・曾良の里』が設立され、末長く次世代につなげて行く事が出来る様願っています。私も地元住民の一人として、又、JAの役員立場から農業振興活動の観点から少しでも、『曾良の里』の発展の一助になればと思っています。



石原 茂
〈土岐津町〉

本年8月に土岐市農業委員に任命されました土岐津町の石原 茂です。三年間務めさせて頂きますので、よろしくお願ひ致します。早速、土岐津町の農地を調査させて頂きました。保全管理の農地、森林化している農地、遊休農地が増え、宅地に転用していく農地、担い手の減少等で田畑が少なくなっており、「これも時代の流れなのかなあ」と感じました。



安藤 喜久夫
〈下石町〉

農業委員会の委員、三期目に御推薦頂き有難うございます。農業委員会法改正により本年8月から新たに十四名体制となりました。新たに設置された農地利用最適化推進委員の3名が加わり、農業委員会の活動である農地転用に係る許認可事務や遊休農地が増加し、農地利用集積・集

約化の活動に取組んで参りたいと思ひます。今後とも皆様のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



梅村 徳幸
〈曾木町〉

「ご挨拶」
農業委員を引き受け、三期目を迎えました。これからもよろしくお願ひします。



土岐 直哉
〈曾木町〉

今回初めて農業委員を務めさせて頂いたことになった土岐です。曾木町で夏秋トマトを栽培して6年になります。私は農業がやりたくて、里山暮らしがたくて、山と田畑に囲まれた緑豊かな曾木町にやってきました。毎日の農作業は大変ですが、四季の移り変わりを愛感しながらトマトを愛情込

めて育てています。

今回、農業委員を務めるにあたって改めて考えさせられたことは、農地の重要性、将来性です。農地は食物を生産することのできる場所という貴重な資源です。あらゆる作物が生産できる可能性があります。しかしながら、現在は耕作放棄されていく農地は増えていくばかりです。農業従事者の高齢化により農地を管理できない等、さまざまな原因があります。難しい問題ではありますが、貴重な資源である農地を維持し、地域農業の発展に少しでも貢献できるよう農業委員として働きかけて行きたいと思ひます。



酒井 勇
〈駄知町〉

秋も深まり、農業の忙しさもひと段落した今日この頃です。農業委員会法の改正により、土岐市は本年8月より新体制となり農業委員十四名と新たに設置された農地利用最適化推進委員3名の十七名でスタートしました。私は、本年8月より農業委員として活動することになりました。農

地転用に係る許認可事務や遊休農地対策また、農地の利用集積などが主な活動となります。一期3年間の任期ですが、私なりに農業の充実、向上を考えながら活動に取り組んで参りたいと思ひます。今後とも皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



澤田 好彦
〈泉町〉

農業委員が任命制へ移行され、農地利用最適化推進委員が3名加わり、十七名体制となりました。三期目を務めさせて頂くことになりましたがよろしくお願ひします。今年9月に委員2名で泉地区の農地、パトリルを実施し、久尻・大富・定林寺・河合の田畑を色分けし、調査しました。当番委員で他の地区を農地転用等で確認する機会もあり、土岐市の農地がどういう場所にあるか知ることが出来ます。まさに中山間地域で、一枚一枚が小さく、農地中間管理機構も扱いづらく、集約も難しい状況で、出来ても収益を上げる営農や委託も引き受けてもらうことが難しいなあ

●農業者年金について 農業者年金は、国民年金の第一号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方ならどなたでも加入できます。税金上のメリットや国からの助成等もあります。詳しくは農業委員会へどうぞ。

農地利用最適化
推進委員の顔

梅村 逸雄 推進委員

(担当区域 鶴里地区)



「無題」

本年8月から土岐市農地利用最適化推進委員に委嘱されました。当委員は、昨年四月に施行された「農業委員会等に関する法律」に基づき、人・農地のマッチングと農地利用の最適化を推進する重要な職責を負っております。今、その責務の重さを痛感しております。

私ごとですが、母、父が昨年から相次いで亡くなり、遺品の中から『平成十一年土岐市農業委員会 利尻・礼文の旅』の写真が出てきました。北海道に行ったことは知っていましたが、父が当委員であったこと、その旅行であったことは今、初めて知りまし。同期の皆様、お世話になりました。今後、よろしくお願ひします。

田中 伸久 推進委員

(担当区域 曾木地区)



「わあ大変 最適化推進委員」

農地利用最適化推進委員として曾木地区を担当することになりました。これって何の事？とよく読んでみると、農地等の利用の最適化の推進に関する指針の策定・変更に際しての意見や、農業委員と連携して現場活動を行ない、担当区域の担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進などの農地利用の最適化の推進活動を行うことと。とりわけ私のように中山間地に住む者としては、この目的・目標は喫緊の課題でありまして、ご近所さんのお話しの中だけでも「このままいくと、畑や田んぼはどうなっていくやろねえ」、「続いて猪に明け渡すのかねえ」などの話題です。猪にはもう少し待ってもらおうか。今後は地域のお役に立てるように頑張って取り組みます。

水野 幸生 推進委員

(担当区域 肥田地区)



「無題」

本年8月に農地利用最適化推進委員として委嘱され、肥田地区を担当することになりました。

田は少し所有をしておりますが、農作業を一切しない私ですが、前任の農業委員の方より仕事はほとんど無いから気楽な役職だからと依頼され、又、地元先輩のため己なく、大役を引き受けました。

毎年9月に市内農地の利用状況調査(農地パトロール)が実施される事を知り大変驚きました。肥田の区域を5日間調査したのですが初めての事で大変苦労を致しました。我がまちの利用状況調査を無事に終了する事ができ、我がまちの隅々まで調査ができ、利用状況が良く分かり、歩く事は大変疲れましたが良い経験ができます。有り難く思っております。

(お問い合わせ)

土岐市農業委員会事務局

TEL..(0572) 54-1111

FAX..(0572) 54-0210

農地の管理をお願いします

荒れている農地については、農業委員会から、農地法に基づき今後の利用を促す通知をさせていただきます。草刈り等がされていないと、近隣の農作業に支障がでてしまうことがありますので、農地の適切な管理へのご協力をお願いします。

どうしても管理が難しい農地については、農地バンクへのご登録や、農業者への斡旋など、農業委員会でご相談を承っておりますのでお問合せ下さい。

農地中間管理事業を活用しよう

■農地を借りたい人

「借受希望者の募集」に応募

原則10年以上の貸付となります。

■メリット

農地中間管理機構を通じて農地の貸借をすることで、借り手は農地の集積・集約化ができ、貸し手は機構集積協力金や固定資産税の軽減の対象になります。(交付要件等有) 産業振興課農林係へお問合せ下さい。